

財政課長の仕事宣言！

財政課長 小柳 秀和

1 基本姿勢

本市の平成27年度の財政状況は、前年度当初と比較し、歳入面では、人口の伸びによる個人市民税の増、地方法人税創設に伴う法人税率の引き下げによる法人市民税の減、消費税率の引上げによる地方消費税交付金の増を見込んだ。

歳出面では、子ども・子育て支援新制度に伴う給付費、臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の給付に要する経費、がん検診、予防接種、妊婦健康診査などに要する経費、児童手当、子どもの医療費助成、障害者、高齢者及び生活保護などの扶助費、廃棄物処理、道路、公共下水道などの生活環境の整備改善及び老朽化している市有公共施設の営繕工事などを計上した。

また6月補正は、鳥栖駅周辺まちづくり基本構想の策定に要する経費、家屋全棟調査業務に要する経費、（仮称）健康スポーツセンターを整備するための経費などを計上した。

今後も、増大する財政需要に対応し、持続可能な財政運営を維持するためには、単年度における収支の均衡を図ることが必要であり、新規・既存事業とも費用対効果や必要性の再検証などを十分に確認し、財政の健全化・効率化を図る必要がある。

2 重点事業の概要

4 持続可能な財政運営を行います

2 地方債の適正管理と財政状況の公表を行います

(1) 健全な財政運営

- ・持続可能な財政運営のためにも、プライマリー・バランス（市債発行額を除く歳入と、公債費を除く歳出の差で、基礎的な財政収支を示すもの）の恒常的な黒字化の推進に努める

(2) 財政の透明化の向上

- ・主な事業の予算編成プロセスのほか主要な財政指標の公表
- ・財政健全化法に基づく指標の公表

3 重点事業の取組み

〔 施策・事業名 〕

- 健全な財政運営
- 財政の透明性の向上

〔 現状と課題 〕

市債残高については、平成10年度末300億円超であったが、26年度末においても、予算規模を下回り一定の成果をあげている。

また、平成26年度決算統計（速報値）において、財政健全化指数も問題ない状況にある。新規事業が予定されており、今後も引き続き持続可能な財政運営に努めるためにも、それぞれの事業費算出後、担当課との財源内訳の確認などの作業も必要と考えている。

また、持続可能な財政運営のためにも、新たな収入の確保が必要と考えている。

〔 目 標 値 〕

当面は市債の残高が、予算規模を下回ることを目指す。

〔取組を達成するための事業〕

- 地方債に関する管理、運営
- 財政情報の公開

〔スケジュール〕

第1四半期	【実施済み】財政公表、当初予算（市報掲載）
第2四半期	決算統計、決算分析
第3四半期	財政健全化指標、財政公表、バランスシート
第4四半期	当初予算（ホームページ掲載）予算概要、決定状況、年度間比較、事業説明書

お問い合わせ

財 政 課 （TEL 0942-85-3514 / E-Mail zaisei@city.tosu.lg.jp）